

平成18年10月30日

左京区 伝統行事

伝統行事カレンダー付き

ネットワーク かわらばん

第2号 発行：左京区役所区民部総務課

左京区役所では、今年度、「左京に息づく伝統文化の保存・継承と観光振興～京都創生へ左京から～」に取り組んでいます。

この事業は、次の2つを柱として進めています。

左京区内の伝統行事の保存会等の相互の連携や協力を進めるためのネットワークづくり

左京区内の伝統文化の保存・継承及び観光振興用の映像づくり

映像の作成は、夏と秋の伝統行事を撮り終え、これからは主に編集作業に入ります。

撮影の対象となる京都市登録無形民俗文化財と国の指定重要無形民俗文化財の23行事のうち、夏と秋に行われる行事は19あり、残りは1月に行われる2行事と

なりました。年度内にはDVDが完成する予定です。



撮影の様子（花脊松上げ）



撮影の様子（北白川高盛御供）

第2回 左京区内の 伝統行事の 保存会等による ネットワーク会議

第2回 左京区内の伝統行事の保存会等によるネットワーク会議は、9月28日に、16の保存会等の出席の下に開催しました。

今回の会議は、佛敎大学文学部教授の八木透さんと亀岡市教育委員会社会教育課の鵜飼均さんをお招きし、専門的な立場から伝統行事の保存・継承についての講演をしていただきました。

講演の後、質疑応答など、情報交換・意見交換を行いました。

日時：平成18年9月28日（木）午後2時～4時

場所：左京区役所第3会議室

参加：16団体20名

内容：講演「民俗芸能の『保存と活用』そして『継承と発展』について考える」



佛敎大学文学部教授 八木 透さん

亀岡市教育委員会社会教育課

鵜飼 均さん

意見交換・情報交換

出席の保存会等（五十音順）

- 一乗寺郷土芸能保存会
- 一乗寺八大神社剣鉾保存会
- 市原ハモ八尾講中
- 石座神社奉賛会
- 大原伝統文化を守る会
- 上高野念仏供養踊保存会
- 北白川伝統文化保存会
- 久多花笠踊保存会
- 久多山の神・お弓保存会
- 鞍馬火祭保存会
- 大文字保存会
- 花脊松上げ保存会
- 広河原松上げ保存会
- 広河原郷土芸能保存会
- 松ヶ崎妙法保存会
- 松ヶ崎題目踊保存会

裏面に
続きます

講演「民俗芸能の『保存と活用』そして『継承と発展』について考える」

亀岡市教育委員会社会教育課 鷓飼 均さん



・昭和50年に無形の民俗文化財についての「重要無形民俗文化財」の指定制度が設けられた。

- ・「重要無形民俗文化財」に指定することで、補助金交付などの保護を行ってきた。
- ・無形の民俗文化財は、地域の行事として時と所を限って行われ、限られた資格を満たした者しか演じることができない。願いを込めて演じ、観客は必要ではなく、芸の巧拙は二義的である。
- ・保存継承の手法としては、現状記録を残すことや後継者を育成することが挙げられる。
現状記録：記録ビデオ、伝承用のマニュアルなど
後継者育成：女性にも参加してもらうことや、地域外の広いエリアから人を募るなど。新たな後継者として、小中学生に期待することも多い。
- ・保存継承については、個別の行事についてケースバイケースで考える必要がある。
- ・保存会のネットワーク組織を作っているのは非常に取組例だと思う。
- ・暮らしそのものが民俗であり、暮らしの形が変わると捨てられることになる。民俗芸能は、かけがえない歴史の資料である。
- ・実践的な努力を試み、その上で成功・失敗した体験について互いに語り合い、検証し合うことが重要である。そのことによって、民俗芸能の伝承のための将来像が見えてくる。



佛教大学文学部教授 八木 透さん



- ・地域住民が減少する祇園祭では、保存と継承の次の3パターンが見られる。
地元のみの排他的継承
学校での民俗芸能の活用
新興住民を交えての継承
- ・単なる伝統という問題ではなく、「文化財の保存」という視点から考えることも必要である。
- ・女人禁制の歴史的な考察をすべきである。グローバルな視座から未来のあり方を模索する。
- ・民俗行事や民俗芸能は人々の精神性に影響を与える「伝統」である。変化してもよい部分と変化させてはいけない部分がある。
- ・民俗行事の本質的意味を考える必要がある。
- ・民俗芸能を保存と活用の目的から舞台化することによって本来の形に変化が生じる可能性がある。そのために誤った認識を与えてしまう例もある。

質疑応答・意見交換

- 【花脊松上げ保存会】今も女人禁制である。身内に不幸があったときは、昔は2～3年行事に参加できなかったが、現在は緩和された。材料が確保できるよう資金面の補助が必要である。
- 【八木さん】身内に不幸があった場合、参加できない期間を徐々に短くしていく例は他にもある。
- 【北白川伝統文化保存会】高盛御供では、女性が準備に参加することは認められていない。手を借りたいが、守らなければならないとも思っている。
- 【大文字保存会】大文字では信仰が非常に大切である。祇園祭ではどうか？
- 【八木さん】祇園祭でも信仰は非常に大切である。祭りを担っている人はよくわかっている。
- 【鷓飼さん】技術を継承するだけでなく、思いや心を継承する必要がある。なぜこのようなことをするのか歴史的な背景を理解したり、女性が参加できないことも皆で考えていくことが、行事そのものを理解することにつながるのだと思う。
- 【鞍馬火祭保存会】鞍馬火祭でもしきたりは同じことで、身内に不幸があれば1年間は喪に服す。

伝統行事カレンダー(10月～1月)

8日	3日	1月	23日	22日	21日	8日	1日	10月
大原上野町おこない・お写	久多山の神・お写		木野愛宕神社烏帽子着	鞍馬火祭	石座神社火祭	八瀬救免地踊	北白川高盛御供	